

議会だより とくのしま



第167号

平成24年5月1日

発行 徳之島町議会 編集 議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



三カ町の議員大会開催

第1回定例会

3月6日～3月16日

審議された案件と議決結果	P10・19
いっぱん質問(9氏登壇)	P11
議会のうごき	P14・15
徳之島三カ町議会議員大会及び研修会	P18

いっばん 質問

3月定例会には、9人の議員が登壇し、インターネットの活用、東中や亀津中の建て替え、医療・福祉問題、防災、行財政改革、さらに農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをただしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

インターネットを活用した 情報発信の取り組み

芝田 竜星 議員

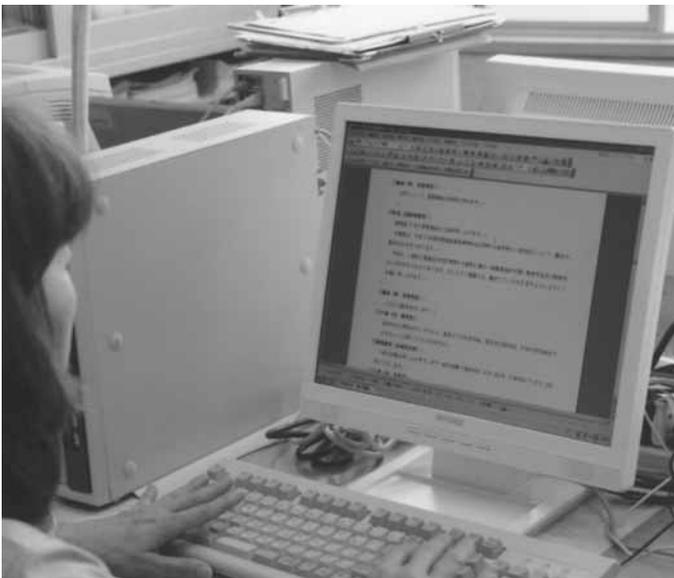


問

現代は、ネット社会であり、世界自然遺産登録を含めた観光PR等をインターネット上のSNS、ブログを活用した今後の取り組みについて伺う。

※SNS（ソーシャルネットワークワーキングシステム）は人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のサービス。

※ブログは個人や数人のグループで運営され、日々更新される日記的なウェブサイトの総称。



インターネットの様子

必要性に 応じて判断

答

長川企画課長

町ホームページは、構築から十年余りになるため情報発信・情報共有のための見直し作業を進めている。今後、SNSやブログの

活用については、必要性を判断して取り組んでいく。

伝わる情報 発信で

答

政本地域営業課長

政本地域営業課長
伝わる情報発信ということで、ブログだけではないのでこれからは、ホームページ、ブログ、フェイスブックの3つをうまく活用して反応する表現方法で発信していきたい。

もっとICT の利活用を

問

本町は、亀津地区全域と亀徳の一部、手々集落までの公共施設が光ファイバーでつながったが、このICT（地域情報通信基盤整備事業）利活用と障害者や高齢者に対してのIT技術を活用した支援や取り組みについて伺う。

ICTは今後 は重要

答

高岡町長

高岡町長
光ファイバーのみならず、ADSL等の整備は今後も必要。障害者、高齢者に対しての利活用は、さらに需要が高まると考えられる。積極的に町として取り組む。

議会だよりの認識は

内 重男 議員



問 「差し止め訴訟で裁判所の判決と議会の議決が相反した場合、どの『決』を優先するのか」の質問に、

「三権分立の観点から差し止めの効力はない」と答弁。議会だよりには「裁判所の決定を最優先」と記載。議会だよりの役割をどう認識しているのか。

訴訟中でも公約は進める

答 高岡町長

三権分立での答弁は、あくまでも訴訟での段階であり結果ではない。行政の政策を進めるにあたり、意図的に訴訟はあつてはならない。公約である以上進め



議会だよりとくのしま

ていく。議会だよりは、住民の皆さまへの情報提供であると考える。

責任の所在は

問

鹿児島地方裁判所での差し止め訴訟の判決前に、公社から土地購入はするべきでないと思う。購入後に「取得差し止め」の判決が出たとき、責任は誰にあるのか。議決した議会にもあるのか。

政策責任は町長に

答 高岡町長

公約や政策は進めるべきで、すべての人に理解を得る努力はするが、政治判断で、進めるものもある。政策責任は、私にあると考える。

一日も早い建て替えを

田袋 徹二 議員



問 東天城中学校は築55年が経過して大変危険である。建て替えは、学校再編計画委員会の結果を待つ

てからとなっているが、一日も早い建て替えを望む。

亀津中の建設終了後に

答 武田学校教育課長

東天城中学校の建て替え計画については、徳之島町幼・小・中学校再編計画委員会を平成24年度に立ち上げて、その中で東天城中も含めた町内の学校再編について協議し、結論を出す予定。現時点での新しい学校の建設は、亀津中の校舎

建設が終了してからになる。

北部振興を空家活用で

問

亀津・亀徳にだけ人口を集中させるのではなく、町全体の発展を望むのであれば、北部地区は定住促進事業の空家活用により人口増を図るべきである。

空家活用を

検討

答 長川企画課長

定住促進事業の取り組みができないか、昨年に空家調査を実施した。今後、民間や町営住宅を活用したU・I・Oターナー者支援を検討していく。



老朽化がひどい東天城中学校

キビ作農家の支援策を示せ

幸 千恵子 議員



斉防除に取り組み。引き続き農業支援隊の活用もお願いしたい。新規就農給付金については、広報等で周知した上で、農談会などを通して該当する方には、担い手として支援していきたい。

産婦人科医の確保を

問 今期のサトウキビ生産量は過去最低が予想され、収入減で農家は大変だ。支援策を示せ。また、来年度実施の「新規就農支援策」を農家に等しく知らせ、農家育成にどう生かそうと考えているか。

答 産婦人科医不在の島に安視している。徳之島の医療福祉を考える会ではどう検討・対策しているのか。また、複数の医療機関に医師配置が望ましい。協力依頼や支援策はどうなっているか。

安心な出産環境を図る

答 住田保健福祉課長 島外から赴任する産科医等に対し手当を支給することにより、分娩施設の継続及び産科医等の確保を図り、安心して出産できる環境の整備を図る。

町としても対策を考えていく

答 高岡町長 在町医療機関に対しては、補助金等を設け、できる限りの対策を打つことが求められると考える。医師不足については、多角的に対応していきたい。

口約束だけの計画進行は無責任

問 2億5千万円の町税を動かす町全体の重大計画を、契約書もなく口約束だけで進めたのか。白寿苑が建っている土地の下に破損しかかった水路があるが、知っていて購入したのか。無責任過ぎる。

福祉政策として進めた

答 高岡町長 当初は病院誘致として進めたもの。町として福祉政策の中で進めたもので、民間ができる限りの初期投資を抑えることで住民サービスの向上を目指した。水路については、掌握していなかったが、町がしっかりと対応していきたいと考える。口約束でのということだが、結果的にそうなった。



水路のある現場

あなたのご意見をお寄せください

議会に対する質問やご意見、また本紙に対するご意見やご希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

* 徳之島町議会事務局 TEL (0997) 82 1111 (内線331番) *

待機児童をゼロにせよ

福岡 兵八郎 議員



問 少子化対策は、今取り組むべき重要課題だ。平成23年度は6人、22年度は4人の待機者がいたようだが、人格形成の大事な時期、幼児教育の理念のつとり、待機児童をなくす環境づくりが必要と思うが。



楽しく遊ぶ園児たち

解消に向けて努力する

答 住田保健福祉課長
就学前の児童数は減少傾向にある。保育へのニーズは高まっている。環境整備の一つとして待機児童の解消を図ることは重要であり、今後、定員を超えての弾力的な入所や、幼稚園を含め定員に空きのある保育所等への入所をお願いして、

待機児童の解消を図っていく。

キビにポジティブリスト制度は

問 平成18年5月に制度化された*ポジティブリスト制度は、サトウキビには適用されないのか。また、除草剤の24-Dは分解しにくい農薬だが、残留農薬検査はしたことがあるのか。

他地域で残留確認されたこととはないか。
*ポジティブリスト制度は食品（農産物）の残留農薬を検査し、規定以上の残留農薬が確認されたら、農作物が出荷停止になる制度。

矛盾はなく白紙撤回はしない

答 岡元農林水産課長
キビにも基準が適用されるが、現在、粗糖・精製糖製造事業者においては、残留農薬検査が行われている。また、これまで制度化以来、国内の食品には、24-Dの違反事例はない。

地区から移転しない。徳寿園は、住民から訴訟を起こされた土地には移転しない」（徳田理事長コメント）。当初から目的、手続き、土地価格評価等々、矛盾だらけだ。すべて白紙撤回すべきと思うが。

すべての食品に適用

答 高岡町長
交渉は、相手があることで、9月5日は了承を得ていた。しかし、12月議会終了後に徳寿園移設はないと申し入れを受けた。町としては、民間サイドの方向転換には柔軟に対応するべきと考える。土地活用は、障害者の雇用目的として植物工場の実証とシルバーハウジングを計画している。白紙撤回はない。

土地先行取得は矛盾だ

問 医療施設整備事業で債務負担行為を議決したが、「徳洲会病院は亀津市街

教育の平等と職場の平等

是枝 孝太郎 議員



なる充実に向けて取り組んでいく。

重点的に 障害者対策

問 本町の、特別支援教育の政策と方向性について伺うとともに、福祉政策における障害者の人々に対しての考えを伺う。

答 高岡町長
町として重点的にやらなければならぬ。亀津中の学校建設において教育委員会と連携を図り、特別支援教室の設置も検討していきたい。また、障害者向け雇用対策も併せて町として対応していく。

さらなる教育 の充実へ

答 秋武教育長
以前から要望のあった高校の訪問教育が、平成25年度に徳之島高校に開設されることは喜ばしいことである。今後、分校設置に向けた取り組みとともに、小中学校の特別支援教育の更

織の在り方について伺う。

防災知識の 普及を

答 米原総務課長
近年は、これまで想定しない災害が発生し、それに対応するには住民の防災に対する知識の向上が大事であり、その普及を図りたい。

防災組織については、災害発生時にすぐ対応できるのは地域であり各集落ごとの立ち上げを進めている。

将来を見通した 地域防災を

問 本町におけるあらゆる災害を見通した防災に対する方針と、自主防災組

有害駆除と第6 次産業の対策は

問 有害鳥獣駆除対策と第6次産業の取り組みに

ついて具体的に示せ。

狩猟者増を 図る取り組みで

答 岡元農林水産課長
現在、町北部でイノシシ進入防止柵を設置中であるが、今後も中部・南部へ向けて設置していくとともに、捕獲報奨費の増額等、狩猟者支援も行う。また、カラス対策についても、町内全域で取り組む。

6次産業の拠点 になるように

答 政木地域営業課長
起業している方で原料の一次加工を島外に頼んでいるので、美農里館でもできる限り協力して、今後有効利用した商品づくりを目指し、6次産業の拠点になるように取り組んでいきたい。



カラスの捕獲わな

28日	27日	25日	23日	21日	17日	16日	15日	14日	6日	2日	3月	26日	20日										
自衛隊殉職者慰霊祭	合創立20周年記念式典	徳之島柑橘生産組合	落成祝賀会(伊仙町)	徳之島食肉センター	議会だより編集委員会	委員会総会(天城町)	第25回トライアスロIN徳之島大会実行	第1回定例会閉会	塾「閉講式	越谷ロータリークラブとの懇談会	第1回定例会開会	日本航空(JAL)との意見交換会	第1回定例会開会	徳之島水土地改良区第1回総代会・設立祝賀会(伊仙町)	徳之島三方町議会議員大会及び研修会	徳之島空港開港50周年記念式典(徳之島空港)	路線電気バス出発式	議会運営委員会	徳之島水土地改良区第1回総代会・設立祝賀会(伊仙町)	徳之島水土地改良区第1回総代会・設立祝賀会(伊仙町)	徳之島水土地改良区第1回総代会・設立祝賀会(伊仙町)	徳之島水土地改良区第1回総代会・設立祝賀会(伊仙町)	徳之島水土地改良区第1回総代会・設立祝賀会(伊仙町)

ニーズに対応した子育て支援



藤井 裕正 議員

る。今後、国・県の動向を踏まえ、必要に応じて子育て家庭が負担感の軽減を実感できる施策の充実を図っていく。

問

施政方針の一つに子育て支援の充実が挙げられている。亀津、亀徳に集中する待機保育児問題と、子育て支援が必要な世代のニーズをどのようにとらえ、対応するのか伺う。

負担感軽減 施策を

答

住田保健福祉課長
本町の少子化対策の一環として、保育等における多様なニーズに対応するため延長保育や一時保育等の特別保育事業や放課後児童健全育成事業を実施してい

見直し求めら れる地域防災

問

東日本大震災を踏まえ本町でも、あらゆる災害に対応できるよう地域防災の見直しを図る必要がある。防災の拠点である消防



住民の生命・財産を守る消防署

建て替え時に 検討

答

高岡町長
消防組合本署は、津波・高潮の被災時には防災拠点として機能するには問題があり、今後、消防組合と連携して消防庁舎の建て替え時には利便性、災害時の対応を考慮して場所の選定する必要がある。

地区防災組織 の立ち上げ

答

米原総務課長
災害が発生した場合にまず対応できるのは地域であり、自主防災組織を立ち上

情報通信網の 整備計画は

問

本町では、現在光インターネットのサービスに限定されている。町民から地域格差との指摘もあるが、現状と今後の計画について伺う。

今後、 調査して検討

答

米原総務課長
光インターネットは亀津・亀徳地域でサービスを提供しているが、利用者が少ない。今後利用者をいかに増やすか地域ニーズ等調査を行い研究・検討を行う必要がある。

げりーダー研修や防災訓練を通して防災知識の普及を図りたい。

拡幅工事はいつから

広田 勉 議員



問

24年度は411万円を町道亀津蔵越線改良舗装工事に組んである。22年

度は1176万円を23年度に繰り越している。今年度の進捗状況は。

3月中旬に 工事発注予定

答

麓建設課長
平成22年度から社会資本整備交付金事業で亀津蔵越線の整備計画を進めている。用地交渉に時間が掛かり、3月中旬に工事を発注する予定。



道幅が狭く離合ができない蔵越線

緊急搬送システム変更へ

問 今、徳之島・沖永良部・与論3島の緊急搬送には、沖繩の自衛隊が対応している。妊産婦と小児は、沖繩が満床状態のため、受け入れが困難である。鹿児島への搬送は、鹿屋の自衛隊が奄美から搬送している。与論から鹿児島まで直接搬送するシステムにできないか。

答 奄美群島地域における妊婦等の周産期医療の確保は、緊急の課題であり、「徳之島の将来の医療・福祉を考える会」で小型飛行機による搬送を要望しているところである。

少年補導の現状をどう見るか

問 教育は環境に左右されると言うが、今年1カ月前に徳之島署管内では12人の少年が補導された。昨年7月末で31人補導されている、この現状をどう見るか。以前は、鍵を掛けずに出掛けられる島と自慢していたが、今や鍵掛けキャンペーンをしているのが現状だ。

答 多い、少ないというより補導される少年が1人でもいるということは、本人・家庭・学校・地域に何かの原因があると思う。また、学力向上も含めた対策をそれぞれが講じていくことが必要であり、取り組んでいきたい。

小型飛行機による搬送を要望

問 一時保育、延長保育、放課後の児童保育等保育ニーズは多様化している。また、待機児童解消のためにも保育所に対する緊急支援が必要不可欠と思われる。具体的な支援事業を示せ。

答 秋武教育長
多い、少ないというより補導される少年が1人でもいるということは、本人・家庭・学校・地域に何かの原因があると思う。また、学力向上も含めた対策をそれぞれが講じていくことが必要であり、取り組んでいきたい。

少年の健全育成に努力

問 一時保育、延長保育、放課後の児童保育等保育ニーズは多様化している。また、待機児童解消のためにも保育所に対する緊急支援が必要不可欠と思われる。具体的な支援事業を示せ。

答 住田保健福祉課長
保育所に対するニーズはとて高い。24年度に保育所緊急整備事業により亀徳保育園の子育て拠点施設

保育所に緊急支援が必要



木原 良治 議員

や一時預かり施設としての環境整備計画を支援していく。

小郷住宅の新築計画

問 亀徳小郷地区に町営住宅の新築計画がある

答 麓建設課長
平成24、25年度において総額約5億6百万円をかけて、小郷団地5号棟6階建て24戸の建て替え事業を行う。

25年度から着工

答 武田学校教育課長
亀津中学校校舎建設計画は、平成23年度と24年度に急傾斜地の工事を県が行い、その後25年度と26年度にかけて校舎建築を行う。27年度に武道館・プールの建設工事を行い、28年度に校庭のかさ上げ工事を実施する計画。

エコ対策にに取り組む

答 高岡町長
町として、エコに対応した学校建設を検討していきたい。町の方向性として再生エネルギーについても取り組んでいきたい。

亀徳保育園の整備を計画

問 住田保健福祉課長
保育所に対するニーズはとて高い。24年度に保育所緊急整備事業により亀徳保育園の子育て拠点施設



亀徳小郷団地完成予想図

亀津中の整備計画を具体的に

問 校舎等新築予定の亀津中学校の整備計画を年次別に具体的に示せ。また、ぬくもりや環境に配慮したエコ計画がなされるのか。

徳之島三カ町議会議員大会及び研修会



徳之島三カ町議会議員大会及び研修会

徳之島三カ町議会議員大会及び研修会が2月20日、徳之島町生涯学習センター2階ホールで開催されました。三町の議会議員、三町長、また、金子万寿夫県議会議長、禧久伸一郎県議会議長、出席し、会長あいさつ、来賓祝辞、県政報告がありま

した。また、天城町から提出された議題が採択され、5月に瀬戸内町で開く奄美群島市町村議会議員大会へ提案することになりました。その後研修会に移り県大高支庁保健福祉環境部衛生・環境室技術主幹兼環境係長西原充貴氏による「世



講師の西原充貴氏

界自然遺産・国立公園指定に向けて」、県町村議会議長会事務局次長中村逸朗氏による「一般質問等について」と題して講演が行われました。

徳之島三カ町の群島議員大会への提出議題の要旨は、



講師の中村逸朗氏



熱心に討議する三町議員

次のとおりです。

「提出議題」

県単事業予算枠の拡大について

(要旨)

徳之島においては、農業立島として温暖な気候を生かし、サトウキビを中心に馬鈴薯、果樹、園芸、畜産などの複合経営が行われています。これまでに国・県の計画に基づき社会資本整備事業が進められてきたところですが、また、平成27年度の徳之島ダム完成に併せ、ほ場整備、畑かん設備の整備、農道整備等が実施されてきたところです。しかしながら、県単事業としての

予算が近年減少傾向にあり、いまだ産業基盤が大きく立ち遅れている状況にあります。

また、今期のサトウキビ

は、春先の低温と5月に襲来した台風2号の気象災害に加え、メイチュウ被害とイノシシによる被害で生産量は過去最低となり、農家の高齢化や兼業化により十分な防除作業が行えない状況にあります。肉用牛においては、若手農家の新規参入も多い反面、高齢農家の畜産離れが懸念される中、近代的な牛舎設備を持たない農家は、牛を飼育管理する上で効率が悪く労力も要しています。また、馬鈴薯においては、安定した生産がなされ、ブランド化へ向けての取り組みも行っているところですが、植え付け作業と収穫作業は一部で機械化が進んでいるものの、多くは手作業で行われ、適期の管理防除作業が十分に実施されず低単収の要因となつていきます。

県営畑総事業及び畑かん事業の完了地区においての農道整備が、いまだに未整備のままであり、利便性を欠いている状況です。また、橋梁においては、徳之島町で81、天城町65、伊仙町25、合わせて1771の橋が管理されており、その建設の大半が昭和30年から40年代に施工され、耐用年数を経過しています。昨年の東日本大震災、また奄美豪雨災害等の未曾有の災害が発生している近年において、避難経路として利用している橋梁も数多くあり、早急な架け替え・改修工事が急務であります。このようなことから、27年度の徳之島ダム完成に併せ、末端の各ほ場への通水が完了し農業振興が図られるよう、また地域活性化の基盤となる道路整備、産業発展の基盤となる施設整備等の県単事業予算枠の拡大と事業採択の緩和について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

3月臨時会（第1回）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
<p>（議案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専決処分（平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算第3号） ・文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・体育センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正 ・陸上競技場の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・都市公園条例の一部改正 ・平成24年度一般会計補正予算（第1号） 	<p>承認 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決</p>

次回の定例会は6月中旬頃の予定です。



議会傍聴の様子

みんなで議会を傍聴してみませんか。
手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎82 1111（内線331番）



編集委員のみなさん

- | | | | | |
|----|-----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 徳田 | 是枝 | 田袋 | 幸 | 福岡 |
| 進 | 孝太郎 | 徹二 | 千恵子 | 兵八郎 |

ある。あの忌まわしい東北大震災から一年が経過し、被災地の一日も早い復興を望むのは日本国民一様の思いである。しかし今、復興を望む「総論」とがれき処理の「各論」が対峙して被災地ではがれきの処理が遅々として進まない。コスト面を考えると出来る限り近隣の市町村で処理し、更に日本全国で対応すべきと思う。また、



「総論賛成、各論反対」、何回か判断に迷ったことがある。

国が精力的に取り組む必要がある。さて、本町の緊急ヘリポート建設問題を考えてみよう。反対されている方々も「緊急ヘリポートの建設は必要。しかし、神之嶺は学校近く等々で駄目」と言っている。町当局は「場所の選定にあたっては、霧が掛からない、民家が無い、学校への騒音影響も少ない等々」の状況判断の上、計画したもの。「総論賛成、各論反対」今一度よく考えてみよう。

文責 田袋徹二

議会だより編集委員